

# 藝文やまなし

題字 金井 昭堂



総合舞台「かぐや姫 2013 ～悠久の愛～」

平成25年3月号

Vol.28

## CONTENTS

- ◆会長随想…………… 2
- ◆国文祭オープニングイベント  
総合舞台「かぐや姫 2013 ～悠久の愛～」… 3
- ◆山梨県文化賞 受賞者の声…………… 4～5
- ◆第12回やまなし県民文化祭の開催状況… 6
- ◆第28回国民文化祭・やまなし 2013  
春～秋のステージと通期事業…………… 7
- ◆総会・研修会のお知らせ…………… 8
- ◆いんふおめーしょん…………… 8



### 山梨県芸術文化協会会長 野口 英一



年明け間もない1月12日、第28回国民文化祭「富士の国やまなし国文祭」が開幕しました。

山梨の芸術家の皆さんが総力を挙げて創り上げた総合舞台「かぐや姫 2013～悠久の愛～」は、国民文化祭の開幕を飾るにふさわしい、圧巻の舞台となりました。幻想的な舞台演出も相まって、躍動する出演者一人一人から情熱が伝わり、一人の観客として“山梨版竹取物語”の世界に引き込まれました。甲府・コラニー文化ホールにご来場いただいた来賓の近藤誠一文化庁長官をはじめ、会場いっぱいの観衆ととも

にも高揚感を共有しました。

山梨県芸術文化協会の加盟団体からは演劇、音楽、洋舞、日舞、太鼓、合唱、邦楽、朗読、民謡民舞、吟剣詩舞のおよそ200名が出演しました。芸術のジャンルを越えて力を融合し、一つの舞台をつくり上げることが並大抵の作業ではないことは言うまでもなく、今回の総合舞台の成功はそれぞれの分野から参加した出演者の熱意、相互理解と協調の精神、そして努力の賜物だったと思います。

いかに「山梨らしさ」を発信していくか——。振り返れば、2007年に国民文化祭の山梨開催が決まってから、常にこの課題と向き合ってきた気がします。この地を象徴するワイン、富士山、ジュエリー、織物といった名産品や景勝地のほか、冬のステージの一環で披露された道祖神祭りや地歌舞伎なども、この国文祭によって魅力を見つめ直すことができた郷土文化の一端ではないでしょうか。

国民文化祭は、前回までは「文化の日」を中心に1～2週間の開催が通例でしたが、やまなし国文祭は初の試みとなる通年開催です。11月10日まで303日間、冬、春、夏、秋の季節ごとにテーマを設け、各地で95の事業が展開されています。過去の例を見ると、開催県には人口規模と同じ来訪者が見込まれるとのことで、山梨では秋までに80万人以上のお客様がイベントを見に来たり、参加したりすることになります。山梨を拠点に活動する芸術文化人にとっては作品や音楽、芸能を多くの人々に披露する絶好の機会になるとともに、新たな交流のきっかけになるかもしれません。当協会の会員のみならず、一人でも多くの県民の皆さんに参画していただけることを期待しています。

さらに本年は、6月に富士山の世界文化遺産登録がいよいよ実現する可能性があります。やまなし国文祭と合わせて、私たちの住む山梨の風土、文化を再認識し、再評価するまたとない機会にもなるでしょう。光の当たっていない、または地域に埋もれてしまっていた文化に、私たち一人一人が目凝らしてみようではありませんか。その先に、やまなし国文祭の成功はあると信じています。

とはいえ、やまなし国文祭は山梨の芸術文化の終着駅ではありません。これを契機にこれまで高めてきた芸術文化、再発見した文化を守り発展させて、県民文化祭など今後の活動の充実につなげていくことが重要です。その一端を、当協会が担っていくことができれば幸いです。

会員の皆様におかれましては当協会の事業に対し引き続きご協力をお願いするとともに、今後ますますのご健勝とご活躍をお祈りし、ご挨拶といたします。





## オープニング・開幕式典

第28回国文祭・やまなし2013冬のステージ オープニングイベントが、1月12日（土）午後2時より、コラニー文化ホールにて開催され、11月10日まで303日間におよぶ文化の祭典の幕が上がりました。

まずはじめに、「いのち輝く・山峡の黎明」と題した望月純吉氏演出の舞台が催され、続く開幕式典では主催者を代表した近藤誠一文化庁長官と横内正明山梨県知事の挨拶、各市町村事業の紹介が行われました。

## 総合舞台「かぐや姫 2013～悠久の愛～」

開幕式典の後休憩をはさんで、総合舞台「かぐや姫 2013～悠久の愛～」が上演されました。

総合舞台には、当協会舞台系10部門約200名の皆様にご出演いただき、かぐや姫と帝の愛の賛歌を、ご来場の多くの方々に楽しんでいただきました。

本作品は、国文祭オープニングイベントに先立つ1月6日（日）に、同ホールにおいて公開リハーサルを上演し、こちらも多くの方々にご来場いただきました。

来場者からは、「感動しました」「あらゆる芸術が融合した質の高い舞台」といった声が寄せられ、これまでの総合舞台の成果を、国文祭という晴れ舞台で披露できたと、一同が安堵いたしました。



## やまなし県民文化祭 総合舞台専門委員長 あいさつ 足達 勝子



やまなし県民文化祭総合舞台専門委員会を代表して、一言ご挨拶方々お礼を申し上げます。

今年は、永年県内芸術文化関係者が目指しておりました「富士の国やまなし国文祭」がスタートいたしました。1月12日から「冬のステージ オープニングイベント」が開幕され、芸術文化協会舞台部門の「総合舞台」はメイン公演として、通年開催される国文祭のスタートを飾りました。県内外の多くのご来場者からご好評をいただき、総合舞台関係者一同、まことに喜ばしく大きな満足感を味わうことができました。総合舞台はこれまでに12回の公演を重ね、年々内容が充実・向上しております。芸術文化協会の皆様には、一方ならぬご支援・ご協力をいただき深く感謝申し上げます。

今後も培い学びえたことをさらに発展させ、県民の皆様にご感動と舞台芸術の素晴らしさをお伝え、愛される「総合舞台」であり続けていきたいと思っております。

芸術文化協会の皆様には変わらぬご支援・ご協力をお願い申し上げます、ご挨拶いたします。



# 山梨県文化賞 受賞者の声

平成 24 年度に山梨県芸術文化協会の会員で、「山梨県文化賞 文化功労者賞」「山梨県文化賞 奨励賞」を受賞された方々を喜びの声とともにご紹介いたします。

## 山梨県文化賞 文化功労者賞

### 山梨県文化功労者賞を受賞して

岡田 清光（稲香）

周囲の山脈が透明に澄み渡った秋の日に、県知事の横内正明氏からのお電話で、「県文化功労者賞」と告げられた時には一瞬戸惑い、お返事の言葉が出てきませんでした。まさに信じられない気持ちでした。書道部門でこの賞を戴いたのは、山梨大学の恩師である荒井碧堂先生、県書道界の重鎮である大橋南郭先生、所属する徽墨会の大先輩の金井昭堂先生と、書道の世界では綺羅星のような方ばかりでした。しかし、この名誉に輝いた以上は、自分の責任の重さを自覚し、日頃から支援をしてくださった皆さんに感謝しつつ、書道文化振興に向けて微力を尽くさねばならぬと固く決意しております。



書道の伝統は 2000 年にも及び、「白と黒の織り成す無限の美」に彩られています。この筆先に集中する無私の境地は、多くの人々の心を深くとらえて愛好されています。このすばらしい書の伝統を後世に伝えるためにも、自ら渾身の力で精進していきたいと思えます。



## 山梨県文化賞 奨励賞

### 文化賞奨励賞を受賞して

大橋 洋之

この度は平成 24 年山梨県文化賞奨励賞の栄に浴することが出来ましたこと、偏に山梨県並びに関係各位の御温情によりますものとあらためて深く感謝御礼申し上げます。

今回の受賞は、まさに僥倖の思いですが、賞の重みを深く胸に刻み、今後は更により一層専心精進を重ねて参りたいと存じます。そして書作においては、文字への畏敬の念を込め、一点一筆に心血を注ぎ、古典によって自らの線を鍛え、古典の智恵を享受し、古典に現代の息吹を加え、紙面の底から湧き出る、生命力ある作品創りを追究して参りたいと思えます。



また微力ながら本年開催の国民文化祭書道展の成功、そして一人でも多くの方々に書のすばらしさを伝え、山梨県書文化向上の為、力を尽くして行きたいと存じます。

本当にありがとうございました。



## 山梨県文化賞 奨励賞

### 山梨県文化賞奨励賞を頂いて

志村かしわ（岡安 喜和）

この度は身に余る賞を賜り厚く御礼申し上げます。またいつも温いご指導ご鞭撻を頂きました諸先生方に深く感謝を申し上げます。

此処からが更なる努力と貢献のスタート地点と心得、自身の技術や表現にますます研鑽を重ね、伝統音楽の真の素晴らしさを皆様に伝え、喜びを共感できるように精進して参りたいと思っております。



## 文化賞奨励賞を受賞して

鈴木 峰男 (博雅)

私のこれからの音楽人生への大きな励みとして、この度、思いもかけず平成24年度山梨県文化賞奨励賞を頂き心より感謝とお礼を申し上げます。私にとりまして音楽は若き10代の頃から、ごくあたり前のように身近にありました。それを職業（声楽・合唱指導・指揮・作曲）として今日まで続けてこられたのも、まわりの諸先生、諸先輩、お弟子さん等、多くの人々に支えられて来たのだと改めて思い起こす大変良い機会になりました。この賞を頂いた事を重く受け止め、今後さらに精進し山梨の音楽向上発展の為、やまなし県民文化祭音楽部門専門委員（現在）のひとりとして、微力ながら協力し、これからも更に有望な若い音楽家がこの山梨から生まれ育ってくれる事を願い夢みて、後進の指導をしまいたいと思っております。



## 奨励賞を受賞して

鶴田 慶子 (宗慶)

この度山梨県文化賞奨励賞を賜り身に余る光栄の事と心より感謝いたしております。推薦して下さいました諸先輩又、支えて下さった多くの皆様に心より御礼申し上げます。特に茶道は、一人では何も出来ません。伝統文化であり又、人と人との集合文化でもあります。この道五十年ひたすら茶道の探求と茶道人の育成、そして数々の茶会に臨んで参りました。しかしまだまだ道は遠く辿るに深いものがございませぬ。この度の思いも寄らない受賞を契機に気持ちをきりかえ又、新たな思いで次に向けて出発する所存でございます。国民文化祭の冬のステージの開幕式も終わりました。次の春のステージの大茶会が目前にひかえております。受賞の喜びと共に、今年一年間国民文化祭に向け、山梨県のおもてなしの心をもって県内外の大勢のお客様をお迎えする思いでいっぱいでございます。



## 文化奨励賞を受賞して

中澤久仁夫

昨年11月14日、ホテル談露館において、横内知事より文化賞奨励賞を賜りましたこと、家内ともどもきのうのこのように心暖かく思い出されております。18歳で川柳文芸を知り、以来今日まで人間諷詠の十七字に人の真を求めております。その間、多くの先輩の慈愛に満ちた導きと、良き柳友に出会えたことが私にとりまして最高の宝となっております。これまで私の得ました貴重な知識等を、これから更に川柳文芸を愛する人々のために伝えてまいります。やまなし国文祭の幕が上がりました。多彩なフェスティバルの中、文芸の祭典も各地で華やかに開催され全国へ山梨の文芸が発信される好機となりました。私はこのたびの受賞をなお意義あるものにするべく国文祭の成功に向け尽力してまいります。



## 奨励賞を頂いて

糠信 恵子

此の度は、身に余ります賞をいただき、深く感謝申し上げます。高校教師時代は、美術系大学への受験の生徒に、適切なアドバイスができるようにと必死で研鑽してまいりました。個展もその為であり、前回の作品より、少しでも納得のゆく作品をと努力しました。退職後はグループ展を含めて、年に数回の美術展に追われ、今日に至っています。私は主として花をモチーフにした静物画を描いています。アトリエのキャンパスの前にすわると雑念を忘れてほっとします。此の山梨県文化賞奨励賞に恥じないように、今後も研修してゆくつもりでございます。お力ぞえを下さいました諸先輩の方々や周囲の皆様には心より感謝申し上げます。





# 第12回やまなし県民文化祭の開催状況

## ●●● 総合展示 —やまなしトップアーティスト展—

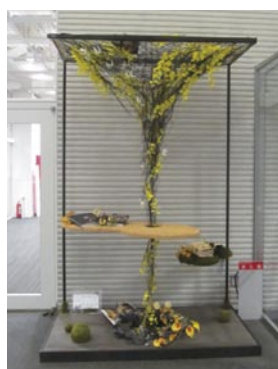
「総合展示」は、「やまなしトップアーティスト展」と題して、平成24年11月13日（火）から18日（日）まで、開館間もない山梨県立図書館・イベントスペースにて開催いたしました。

県内の美術・書道・写真・華道・フラワーデザイン・ハンドクラフト各部門における指導的立場にある方々の作品105点を一堂に展示し、2千名を超える方々にご鑑賞いただきました。

図書館のオープニングにあたり、会場入口付近には華道とフラワーデザイン部門による迎え花が展示され、土曜日と日曜日には、茶道部門による呈茶が図書館2階交流室にて行われるなど、多くの方々に幅広く芸術文化との触れあいをお楽しみいただきました。



題字揮毫：矢崎 美咲氏  
イメージ作品：井上 公雄氏



## ●●● 合同展示

「合同展示」は、山梨県立図書館・イベントスペースにて、平成25年2月20日（水）から24日（日）まで開催されました。

「合同展示」には、県民文化祭部門別フェスティバルの県民文化祭賞・優秀賞受賞作品のほか、高等学校芸術文化祭の芸術文化祭賞・優秀賞作品、障害者文化展の知事賞受賞作品、シルバー作品展の優秀作品など76点が展示され、総合展示ともども、にぎわう新たな会場での展示会は、大変多くの方々にご来場・ご鑑賞いただくことが出来ました。



## ●●● 部門別フェスティバル

芸術文化協会の各部門が主体となって行われる「部門別フェスティバル」は、7月の少年少女合唱フェスティバルや吹奏楽部門・南都留公演を皮切りに、発表・展示・舞台の各部門が特色ある事業を展開し、県民文化祭を盛り上げていきました。



# 国民文化祭 春～秋のステージと通期事業

第28回国民文化祭・やまなし2013（富士の国やまなし国文祭）

テーマ「文化の風とあそび～みつめる・こえる・つなげる」

会期：平成25年1月12日（土）～11月10日（日）（303日間）



文化の風とあそび～みつめる・こえる・つなげる  
第28回  
国民文化祭  
やまなし2013  
平成25年1月12日（土）～11月10日（日）

## 季節のステージ

※主な事業のみのご紹介です。なお、観覧には事前応募が必要な場合がありますので、ご確認ください。

# 春

のステージ

### オープニングウィーク 平成25年4月6日（土）～14日（日）

オープニングイベント：4月6日（土） 舞鶴城公園特設ステージほか  
やまなし発見フォーラム：4月14日（日） 東京エレクトロン韮崎文化ホール

信玄公の命日（4月12日）にちなみ、山梨の歴史をみつめるフットパスなどの催しを行います。また、豊かに咲きほこる春の花もご紹介します。

いのち、萌えたつ。

# 夏

のステージ

### オープニングウィーク 平成25年6月30日（日）～7月7日（日）

オープニングイベント：6月30日（日） 河口湖ステラシアター  
やまなし発見フォーラム：7月6日（土） 富士五湖文化センター

富士山のお山開きの神事「お道開き」と呼ばれる神事からはじまり、富士山や高原の文化に触れてみてください。

山河、きらめく。

# 秋

のステージ

### グランドステージ 平成25年10月26日（土）～11月10日（日）

総合フェスティバル（開会式）：10月26日（土） コラニー文化ホール  
やまなし発見フォーラム：10月27日（日） 山梨県立図書館ほか  
閉会式・フィナーレ：11月10日（日） 富士五湖文化センター

季節の節目ごとに地域の文化を見つめ、発信してきた富士の国やまなし国文祭の集大成です。

実りの感謝、次代へ。

## 通期事業

いつでも誰でも気軽に楽しめて、四季折々の山梨の魅力を味わっていただけの4つの事業を、会期中継続して実施します。

### やまなしフットパス



県内各地域の歴史や文化、まちの魅力に触れる200コースを、毎週のようにみんなで歩きます。

### まちなかステージ

まちなかアーティストをはじめとするパフォーマーたちが、県内のあちこちで音楽やダンス等を披露します。



### やまなし造形遊び

想像力を働かせてみんなで協働して制作した造形作品をまちなかに展示します。

### やまなし食のカレンダー

山梨ならではの料理や食べ方、食べ処などを紹介するほか、新メニューの開発、伝承料理教室などを開催します。



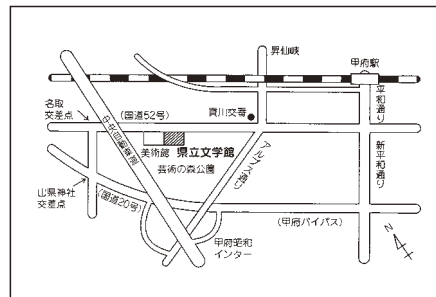
## 分野別フェスティバル（市町村主催事業）

各市町村を舞台に、音楽・美術・舞台・生活文化など、様々なジャンルのイベントや、その地域で伝えられてきた祭りや伝統芸能などをテーマとした独自の文化イベントなど、74のイベントを平成25年度に開催します。詳しくは、公式ガイドブックやホームページ（<http://yamanashi-kokubunsai.jp/>）をご覧ください。

# 総会・会員研修会のお知らせ

**日時** 平成 25 年 4 月 25 日(木)  
総 会：14：00～15：00  
会員研修会：15：00～15：45

**場 所** 山梨県立文学館・研修室  
甲府市貢川1-5-35 TEL 055-235-8080



**総会概要**  
・平成 24 年度 事業報告及び決算について  
・平成 25 年度 事業計画及び予算案について

## 会員研修会

国民文化祭の成功と、終了後もその成果を引き継ぐため、これまで取り組んで来た状況や、その成果を展示・舞台・発表の各部会の代表から発表して頂き、今後の当協会の事業や会員の皆様の活動の参考となるような学習会を予定しています。

# いんぷおめーしょん

## 会員活動紹介

### 写 真 部 門

■山梨県写真団体連絡協議会第 12 回合同展  
日 時：平成 25 年 7 月 10 日(水)～15 日(月・祝)  
会 場：山梨県立美術館 県民ギャラリーA

### 美 術 部 門

■峡北美術協会展  
日 時：平成 25 年 5 月 3 日(金・祝)～7 日(火)  
会 場：山梨県立美術館 県民ギャラリーA B

■峡北美術協会小品展  
日 時：平成 25 年 9 月 11 日(水)～23 日(月・祝)  
会 場：八ヶ岳自然ふれあいセンター

■白濁会美術展  
日 時：平成 25 年 6 月 1 日(土)～6 日(木)  
会 場：山梨県立美術館 県民ギャラリーA B

■南アルプス美術協会展  
日 時：平成 25 年 5 月 24 日(金)～30 日(木)  
会 場：山梨県立美術館 県民ギャラリーB

■第 76 回山梨美術協会展  
日 時：平成 25 年 6 月 30 日(日)～7 月 9 日(火)  
(7 月 1 日、8 日は休館日)  
会 場：山梨県立美術館 県民ギャラリーA B C

### 吟 剣 詩 舞 部 門

山梨県詩吟剣詩舞総連盟  
■クラウン全国吟詠コンクール山梨地区大会  
日 時：平成 25 年 3 月 23 日(土) 10：00 開会  
会 場：山梨県立文学館 講堂

山梨県吟剣詩舞道総連盟  
■全国吟剣詩舞コンクール山梨県大会  
日 時：平成 25 年 4 月 21 日(日) 10：00 開会  
会 場：山梨県立文学館 講堂

### 邦 楽 部 門

■やまなし邦楽合奏団「響鳴」第 6 回定期演奏会  
日 時：平成 25 年 5 月 5 日(日) 13：30 開演  
会 場：コラニー文化ホール・小ホール  
入場料：900 円  
特別企画「～こどもと邦楽の出会い～邦楽で遊ぼう」を併催

### 民 謡 民 舞 部 門

■第 18 回山梨県舞踊研究会 舞踊発表大会  
日 時：平成 25 年 4 月 7 日(日) 10：30 開演  
会 場：コラニー文化ホール・小ホール

### 音 楽 部 門

■山梨交響楽団第 40 回定期演奏会  
日 時：平成 25 年 6 月 9 日(日) 18：00 開演  
会 場：コラニー文化ホール・大ホール  
指 揮：北原 幸男  
(宮内庁式部職楽部常任指揮者)  
コンサート・マスター：永峰 高志  
(NHK交響楽団)  
演奏曲目：フランツ・シューベルト/  
交響曲第 7 番 ロ短調「未完成」  
リヒャルト・シュトラウス/  
交響詩「英雄の生涯」  
入 場 料：一般 1,500 円 高校生以下 1,000 円

いんぷおめーしょんに活動情報の掲載をご希望の  
会員の方は、事務局までお申し出ください。